

学位授与の方針（DP）に関する卒業生と就職先へのアンケート調査結果

本学では、今後の教育改善に取り組むことを目的として、毎年、「学位授与の方針に係わる学習成果」の検証を行っている。卒業生には自己評価への協力を依頼し、その就職先には、卒業生のディプロマ・ポリシーに関しての達成度評価をお願いしている。以下、DP推進委員会が2023年度に行ったアンケート調査結果について報告する。

1. 調査対象

1) 2022年度卒業生（2021年4月入学、2023年3月卒業）

- ・卒業生調査対象者数：213名（保育科173名+現代ビジネス科40名）
- ・卒業生調査回答者数：35名（回答率16.4%：保育科29名+現代ビジネス科6名）
- ・調査期間：2023年11月30日～2023年12月末日
- ・その他：卒業生については、Webによる回答を求めた。

2) 就職先調査依頼施設・事業所

- ・就職先調査対象企業数：150施設・事業所
- ・調査回答企業数：115施設・事業所（回答率76.7%：卒業生142名分）
- ・調査期間：2022年11月30日～2023年1月末日

2. 調査結果

(1) 2022年度卒業生の自己評価と就職先評価

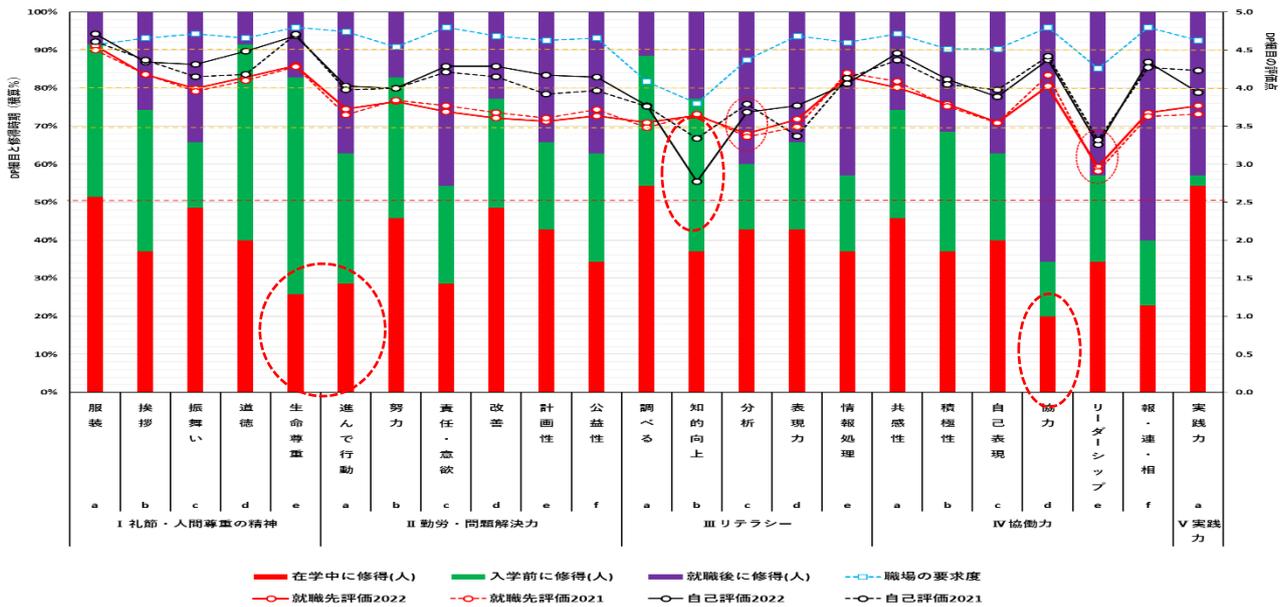


図1 2022年度卒業生のDP（Ⅰ～Ⅴ）に関する自己評価・職場評価ならびに修得時期

表1 2022年度卒業生の自己評価と就職先評価

	Ⅰ 礼節・人間尊重の精神					Ⅱ 勤労・問題解決力					Ⅲ リテラシー					Ⅳ 協働力					V 実践力		
	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	f	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	f	a
	服装	挨拶	振舞い	道徳	生命尊重	進んで行動	努力	責任・意欲	改善	計画性	公益性	調べる	知的向上	分析	表現力	情報処理	共感性	積極性	自己表現	協力	リーダーシップ	報・連・相	実践力
自己評価2022	4.7	4.3	4.3	4.5	4.7	4.0	4.0	4.3	4.3	4.2	4.1	3.8	2.8	3.7	3.8	4.1	4.5	4.1	3.9	4.4	3.3	4.3	3.9
職場の要求度	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.5	4.8	4.7	4.6	4.7	4.1	3.8	4.4	4.7	4.6	4.7	4.5	4.5	4.8	4.3	4.8	4.6
就職先評価2022	4.6	4.2	4.0	4.1	4.3	3.7	3.8	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6	3.4	3.6	4.1	4.0	3.8	3.5	4.0	3.0	3.7	3.8
入学前に修得(人)	14	13	6	18	20	12	13	9	10	8	10	12	14	6	8	7	10	11	8	5	8	6	1
在学中に修得(人)	18	13	17	14	9	10	16	10	17	15	12	19	13	15	15	13	16	13	14	7	12	8	19
就職後に修得(人)	3	9	12	3	6	13	6	16	8	12	13	4	8	14	12	15	9	11	13	23	15	21	15
自己評価と就職先評価の差	0.16	0.17	0.32	0.34	0.39	0.30	0.18	0.60	0.68	0.61	0.51	0.22	-0.87	0.28	0.18	-0.09	0.45	0.33	0.34	0.34	0.29	0.67	0.18
就職先評価2022と2021の差	0.06	0.00	0.03	0.04	0.02	0.08	-0.02	-0.08	-0.07	-0.05	-0.09	0.07	-0.02	0.04	0.10	-0.05	-0.08	0.03	0.01	-0.14	0.05	0.05	0.11
自己評価2022と2021の差	0.10	-0.03	0.16	0.31	-0.02	0.05	0.00	0.08	0.14	0.25	0.17	0.01	-0.57	-0.10	0.40	-0.07	0.09	0.06	-0.09	-0.05	-0.06	0.07	-0.29
自分評価のまとめ2022	4.51					4.15					3.61					4.07					3.94		
就職先評価のまとめ2022	4.23					3.67					3.67					3.67					3.77		

(参考：2021年度卒業生の自己評価と就職先評価)

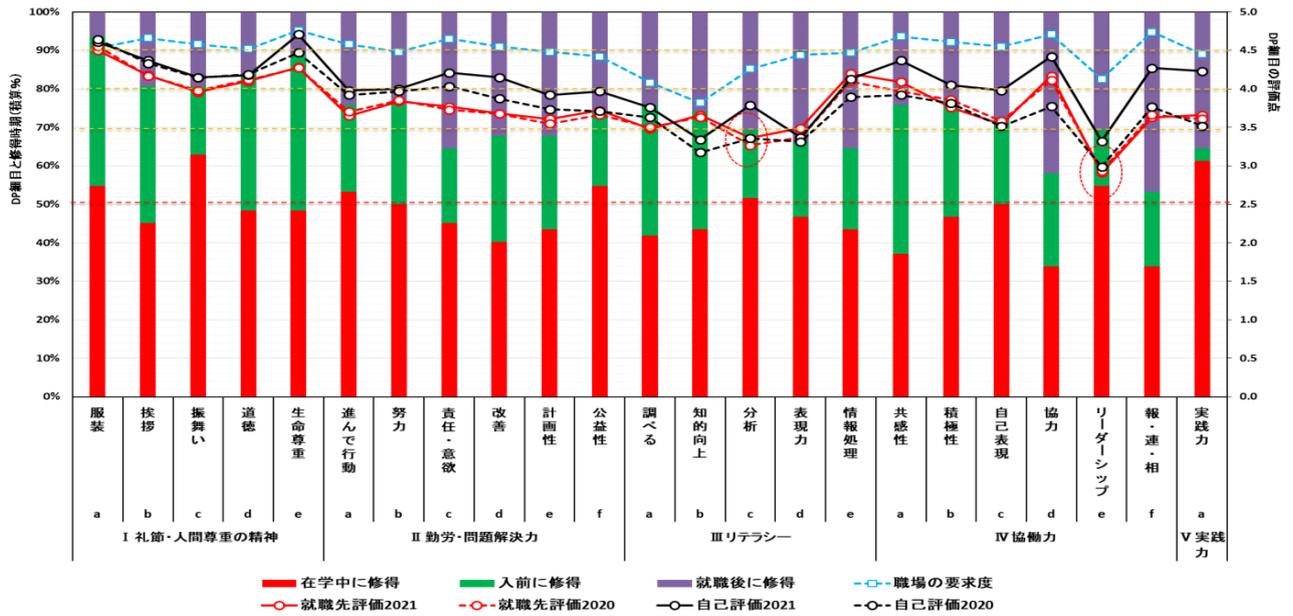


図 2021年度卒業生のDP(1~V)に関する自己評価・職場評価ならびに修得時期

(2) 就職先による卒業生評価の推移 (2017~2022年度)

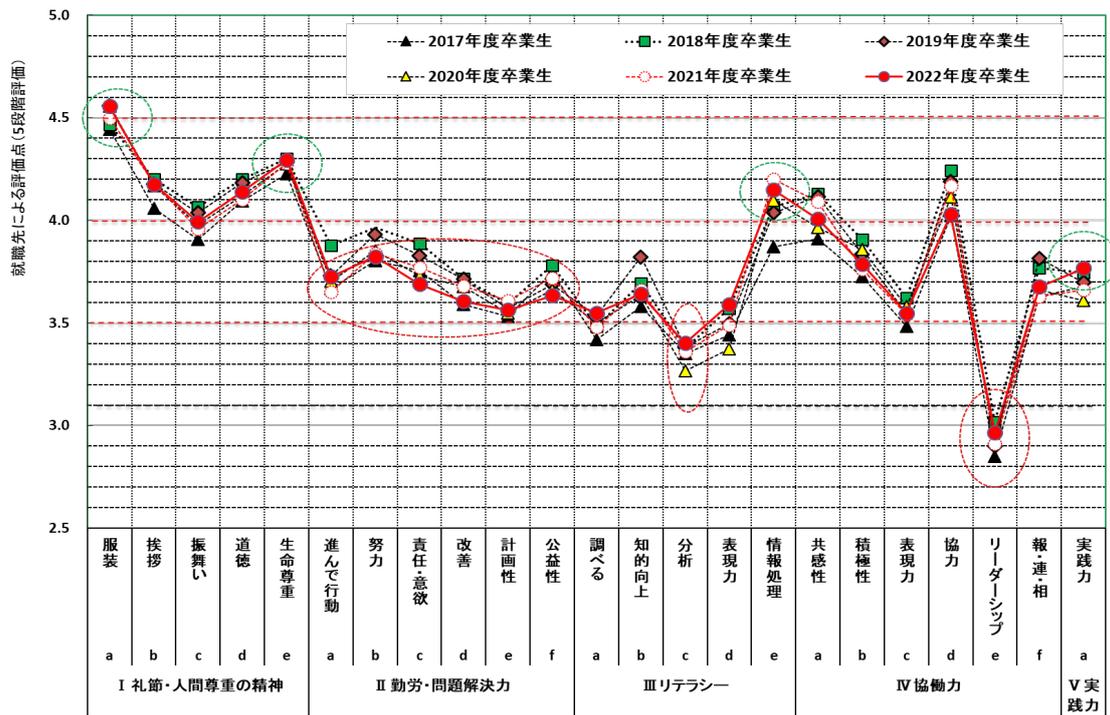


図2 就職先による卒業生のDP(1~V)達成度評価 (2017~2022年度卒業)

表2 就職先による卒業生のDP(1~V)評価 (2017~2022年度卒業)

卒業年次	I 礼節・人間尊重の精神					II 勤労・問題解決力					III リテラシー					IV 協働力					V 実践力			
	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	f	a	b	c	d	e	a	b	c	d		e	f	a
	服装	挨拶	振舞い	道徳	生命尊重	進んで行動	努力	責任・意欲	改善	計画性	公益性	調べる	知的向上	分析	表現力	情報処理	共感性	積極性	表現力	協力	リーダーシップ	報・連・相	実践力	
2017年度卒業生	4.44	4.06	3.91	4.09	4.23	3.67	3.80	3.76	3.59	3.53	3.75	3.42	3.58	3.35	3.44	3.87	3.73	3.91	3.73	3.48	4.02	2.85	3.63	3.68
2018年度卒業生	4.46	4.20	4.06	4.20	4.30	3.88	3.96	3.89	3.72	3.59	3.78	3.48	3.69	3.38	3.57	4.07	4.13	3.91	3.62	4.24	3.02	3.77	3.74	
2019年度卒業生	4.56	4.18	4.04	4.18	4.28	3.73	3.93	3.83	3.71	3.57	3.69	3.53	3.82	3.38	3.50	4.04	4.12	3.83	3.55	4.19	2.90	3.82	3.70	
2020年度卒業生	4.56	4.17	3.98	4.12	4.27	3.70	3.85	3.73	3.68	3.55	3.66	3.50	3.63	3.27	3.37	4.10	3.96	3.86	3.58	4.11	2.94	3.66	3.61	
2021年度卒業生	4.50	4.18	3.96	4.10	4.28	3.65	3.84	3.77	3.68	3.61	3.72	3.48	3.66	3.36	3.49	4.20	4.09	3.76	3.54	4.17	2.91	3.63	3.66	
2022年度卒業生	4.56	4.18	3.99	4.14	4.30	3.73	3.82	3.69	3.61	3.56	3.63	3.55	3.64	3.40	3.59	4.15	4.01	3.79	3.55	4.03	2.96	3.68	3.77	

(3) 就職先による卒業生評価の年次推移

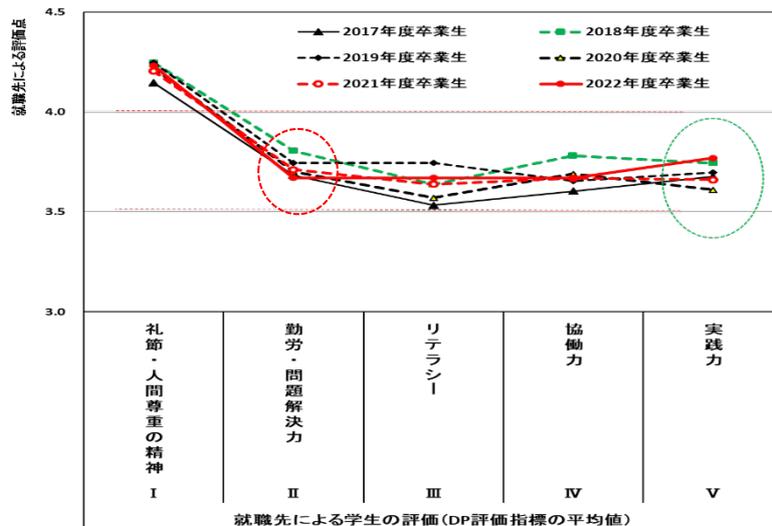


図3 就職先の卒業生評価 (DP 評価指標平均値：2017～2022 年度)

表3 就職先による卒業生評価の年次推移

まとめ	I 礼節・人	II 勤労・問	III リテラシ	IV 協働力	V 実践力
2017年度卒業生	4.15	3.68	3.53	3.60	3.68
2018年度卒業生	4.25	3.80	3.64	3.78	3.74
2019年度卒業生	4.25	3.74	3.74	3.65	3.70
2020年度卒業生	4.22	3.70	3.57	3.69	3.61
2021年度卒業生	4.20	3.71	3.64	3.67	3.66
2022年度卒業生	4.23	3.67	3.67	3.67	3.77

3. まとめ

2022 年度卒業生の DP (I～V)に関する自己評価・職場評価ならびに修得時期についてアンケート調査を行った結果、以下の事が明らかになった。

- 1) 昨年度に比べて DP (I～V)の修得時期にやや変化がみられ、在学中の DP (I～V)修得比率が全体的に減少している。特に、DP-I (生命尊重)、DP-ブ II (進んで行動)、DP-IV (協働力：協力、報連相) の比率が少なくなり、卒業生は、これらの要素を入学前と就職後に修得したとしている。卒業生が DP (I～V)の修得時期を在学中と感じることができる教育内容の検討 (取り組み) が必要と思われる。
- 2) 卒業生の DP (I～V)に関する自己評価については、昨年度との間に大きな差は見られないが、一部、DP-III (リテラシー：知的向上)において昨年よりやや評価が下がっている。この点は全体評価の中でも最小値を示しているので、知的向上心を高める教育改善が必要と思われる。
- 3) 就職先の DP (I～V)に関する職場評価においては、ほとんど昨年度と同様の評価傾向が表れている。特に DP-IV (協働力：リーダーシップ) についての評価が 3.0 と低く、長年の懸案事項となっている。また、DP-III (リテラシー：分析力) もやや低い評価となっており、対策として物事の筋道を立てて考え、分析・総合する能力を向上させる教育改善が必要となっている。
- 4) 過去 6 年間の卒業生の DP (I～V)の取得状況に対する「就職先評価」について、ここ数年同様の傾向を示し、大きな変化は見られていない。強いてあげるとすると、2022 年度卒業生は DP-I・III の項目がやや向上し、DP-II・III の評価がやや低下している。課題は、リーダーシップと分析力の向上である。

資料3. 就職先評価：良いと思うこと

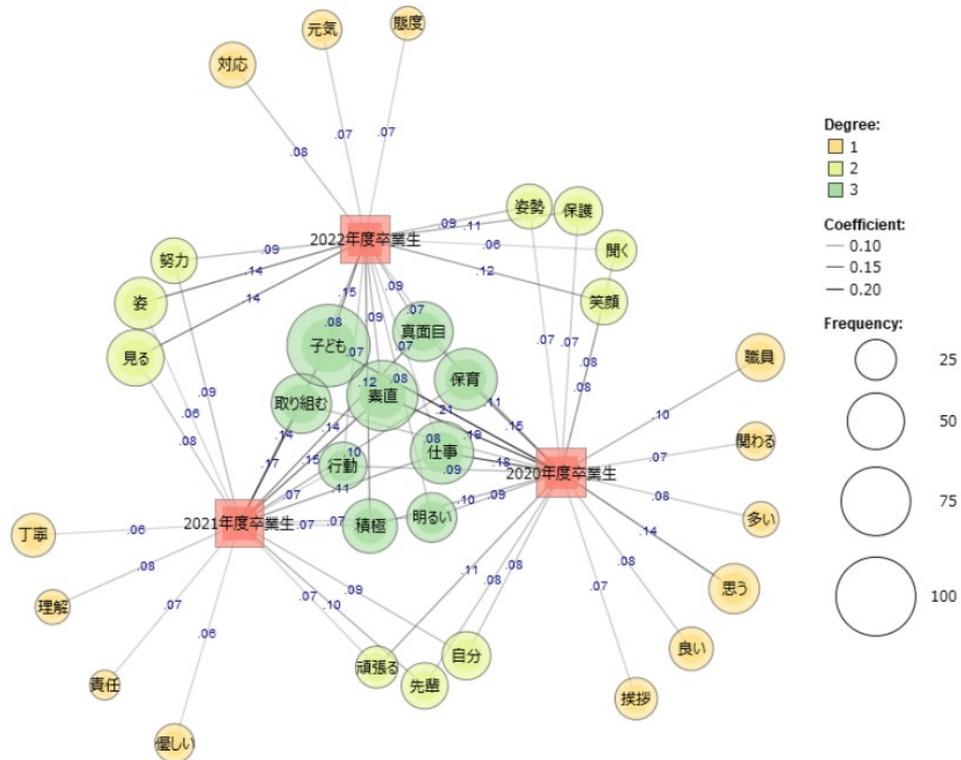


図 C 2020-2022 年度卒業生の就職先評価：良いと思うこと（共起ネットワーク分析）

資料4. 就職先評価：今後の課題

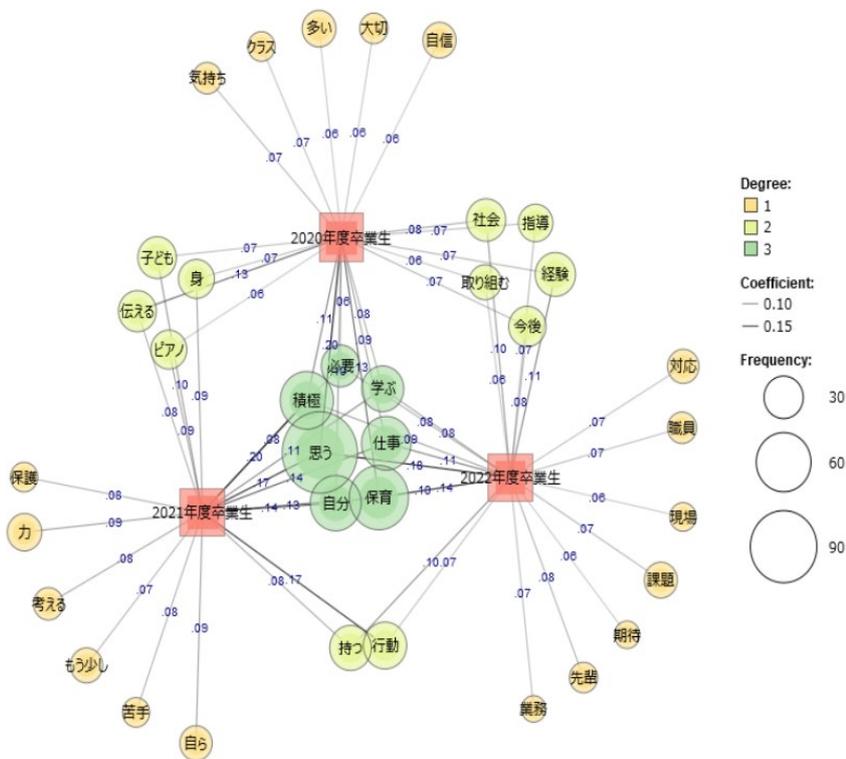


図 D 2020-2022 年度卒業生の就職先評価：今後の課題（共起ネットワーク分析）